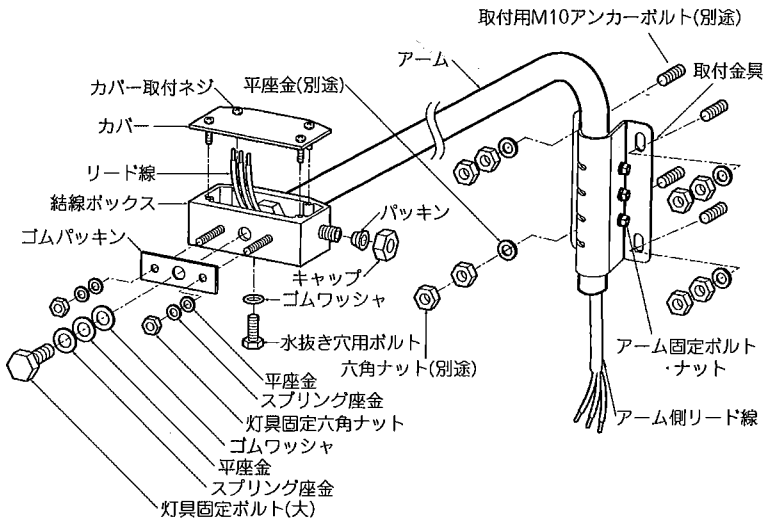
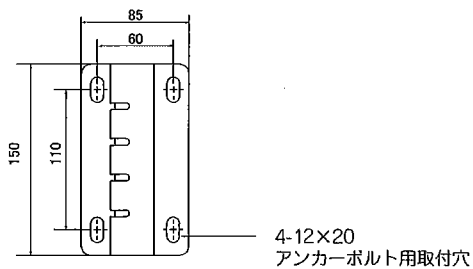


◆各部の名称

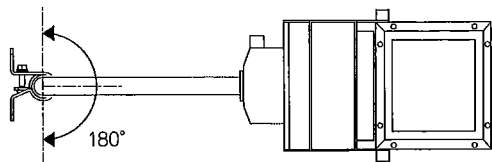
この図は一部省略抽象した共通部品図です



◆取付寸法



◆可動範囲



⚠ 指定範囲を超えて可動させないでください。
破損・落下・感電の原因となります。

⚠ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

■清掃方法について ⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもの拭いたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店が、最寄営業所へお問い合わせください。

◆取付方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

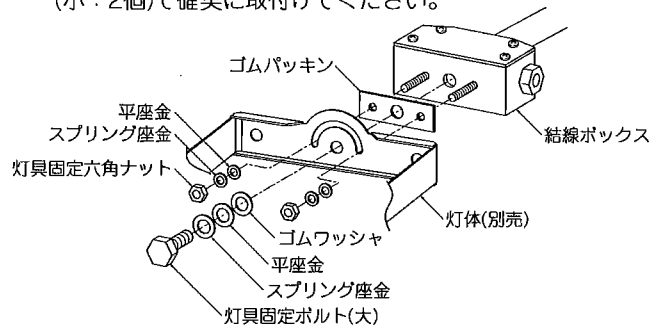
⚠ 感電の原因となります。

2. 器具重量に耐える様、取付面の強度を確保してください。

⚠ 取付部の強度が不十分な場合、器具落下・破損等の原因となります。

3. 灯体(別売)を取付けてください。

- 灯体固定ボルト(大)、スプリング座金、平座金、ゴムワッシャと、灯体固定六角ナット(小：2個)、スプリング座金(2枚)、平座金(2枚)をはずし、ゴムパッキンをはずしてください。
- ゴムパッキン、灯体(別売)を結線ボックスに合わせて、ゴムワッシャ、平座金、スプリング座金、灯体固定ボルト(大)と平座金(2枚)、スプリング座金(2枚)、灯体固定六角ナット(小：2個)で確実に取付けてください。

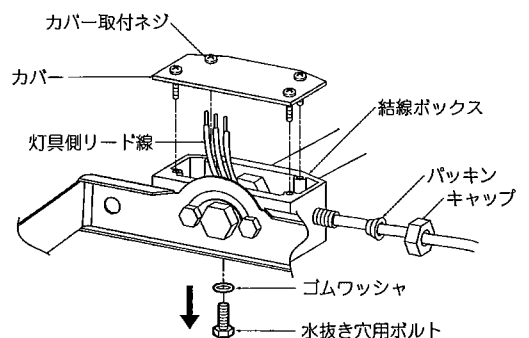


⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

4. カバー取付ネジ(4個)をゆるめ、カバーを結線ボックスからはずしてください。

5. キャップ、パッキンをはずし、灯具側リード線をキャップ、パッキン、結線ボックスに通し、キャップを確実に締め付け固定してください。

※カバーが上側に施工される際には水抜き穴用ボルトを外してください。



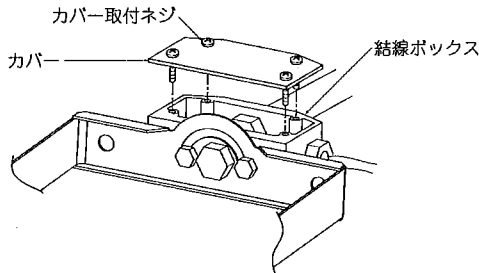
⚠ 締め付けが不完全ですと、浸水による漏電・器具故障の原因となります。

6. 灯具側リード線とリード線を結線し、自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行なってください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

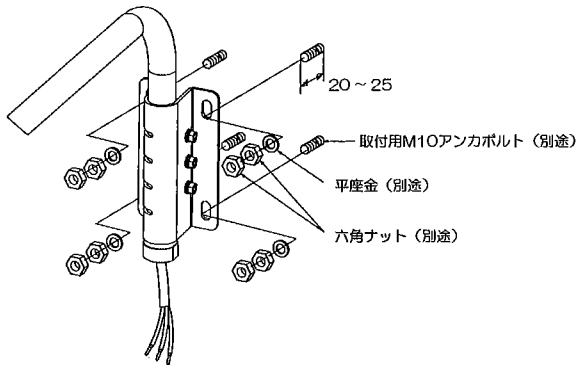
7. カバーを結線ボックスに合わせて、カバー取付ネジ(4個)で確実に取付けてください。



⚠ 取付けが不完全ですと、浸水による漏電・器具故障の原因となります。

8. 取付金具を取付けてください。

- 取付用M10アンカーボルト、六角ナット、平座金(ステンレス製)は別途ご用意ください。
- 指定の位置にアンカーボルトを施工してください。
- 取付金具の取付穴にアンカーボルトを通し、平座金、六角ナットで確実に締め付け取付けてください。



⚠ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

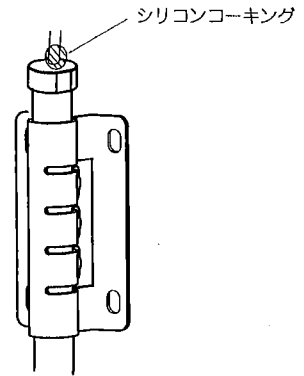
9. 電源線とアーム側リード線を結線してください。

※灯具が別置き電源タイプの場合は、灯体の取扱説明書をご参照ください。

※電源線はキャブタイヤケーブル2PNCT(0.75mm以上3芯)を使用してください。

電源線とアーム側リード線を結線し、自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行なってください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

※取付けの際に、カバーが上を向く場合は必ずシリコンコーキング剤でコーキングしてください。(コーキング剤は別途ご用意ください。)



⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

⚠ 取付けが不完全ですと、浸水による漏電・器具故障の原因となります。

10. アーム固定ボルト・ナット(3個)を緩めて、アームを調整し、照射位置を合わせてください。調節後、アーム固定ボルト・ナット(3個)を確実に締め付け固定してください。

